

## 今月のKYT（危険予知トレーニング）

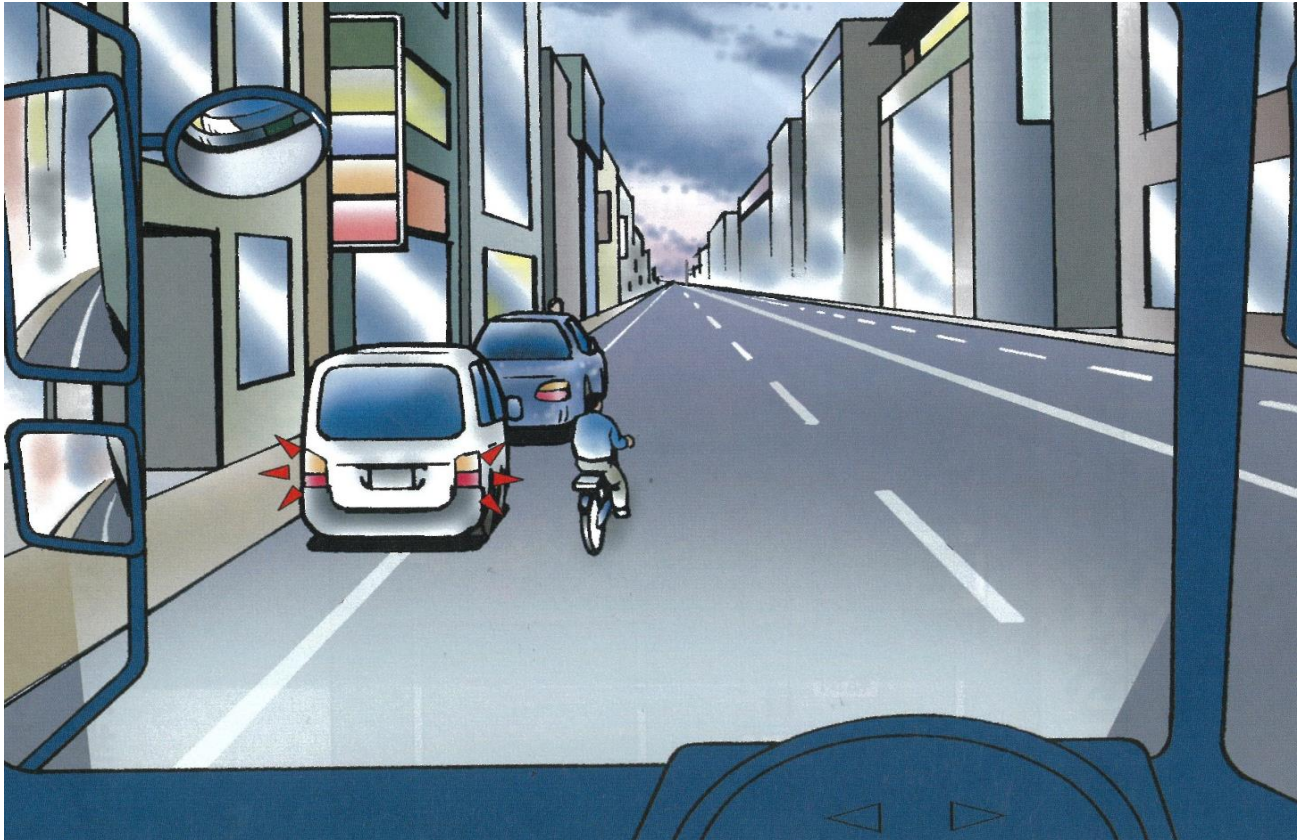
### ◆ 夕方の繁華街の道路をトラックで走行しています。

- 前方には駐車車両や自転車が見えます。
- 自車はこのまま進行したいのですが ……。

【解説は次ページ】

下記のKYTトレーニングを実施し、自己の危険予知能力を高めましょう！

### Q あなたはどのような運転をしますか？



◎ 予想される危険を記入して下さい。

氏名 \_\_\_\_\_

1 \_\_\_\_\_

2 \_\_\_\_\_

3 \_\_\_\_\_



# 危険予知ポイント

- ③
- ②
- ①

① 自車の接近に驚いた自転車が転倒して衝突する。  
 ② 発進してきた駐車車両と衝突する。  
 ③ 駐車車両の陰から横断してきた歩行者と衝突する。

安易に自転車に近づかない

トラックなど車高の高い車は、アイポイントが高く、視界が開けていることから、車間距離を詰めがちです。「まだ大丈夫」と思って安易に自転車に近づくと、自車の接近に驚いた自転車がふらついたり、転倒して衝突する危険があります。

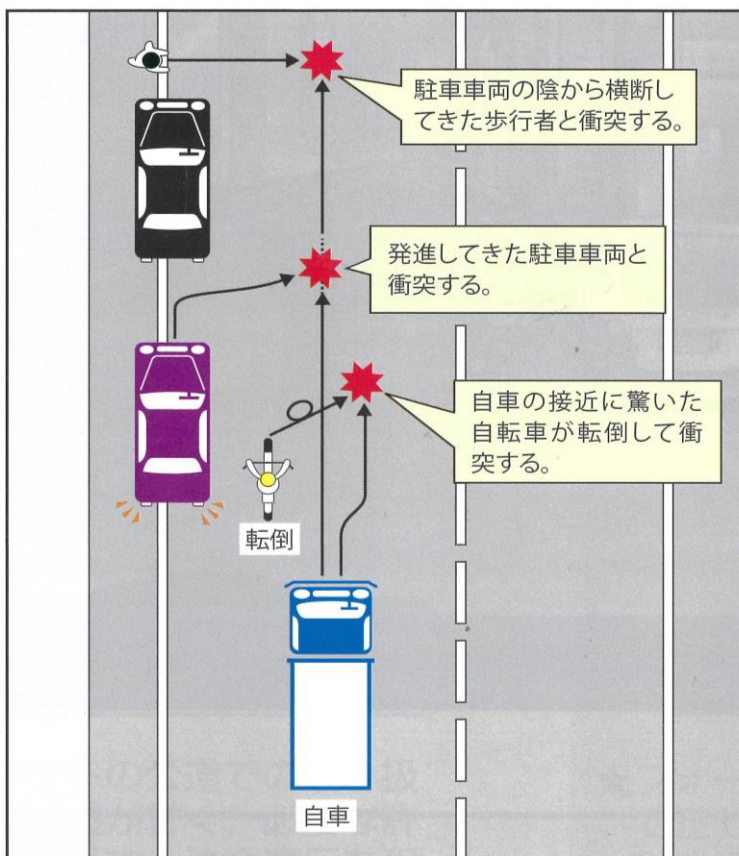
自転車の動静に注意を払い、十分な距離を保って走行しましょう。

## 駐車車両の発進や

## 歩行者の横断を予測する

夕方は視界の悪化にくわえて「早く帰りたい」という心理が働くことで、他車(者)も安全確認が疎かになります。そのため、自車に気づかず駐車車両が発進してきたり、車両の陰から歩行者が横断してくる危険があります。

こうした危険を予測し、速度を抑えて慎重に運転しましょう。



夕方以降は、危険予測の徹底とスピードダウンで慎重に運転しよう。

KYT(危険予知訓練)は、交通場面を見て、どこに、どういう危険があるかを想像することで、危険を予測する訓練法です。

日々KYTを行い、危険感受度を高めて危険回避に役立てましょう。

※ 毎月配信しています。有効に活用し事故防止にお役立てください。